



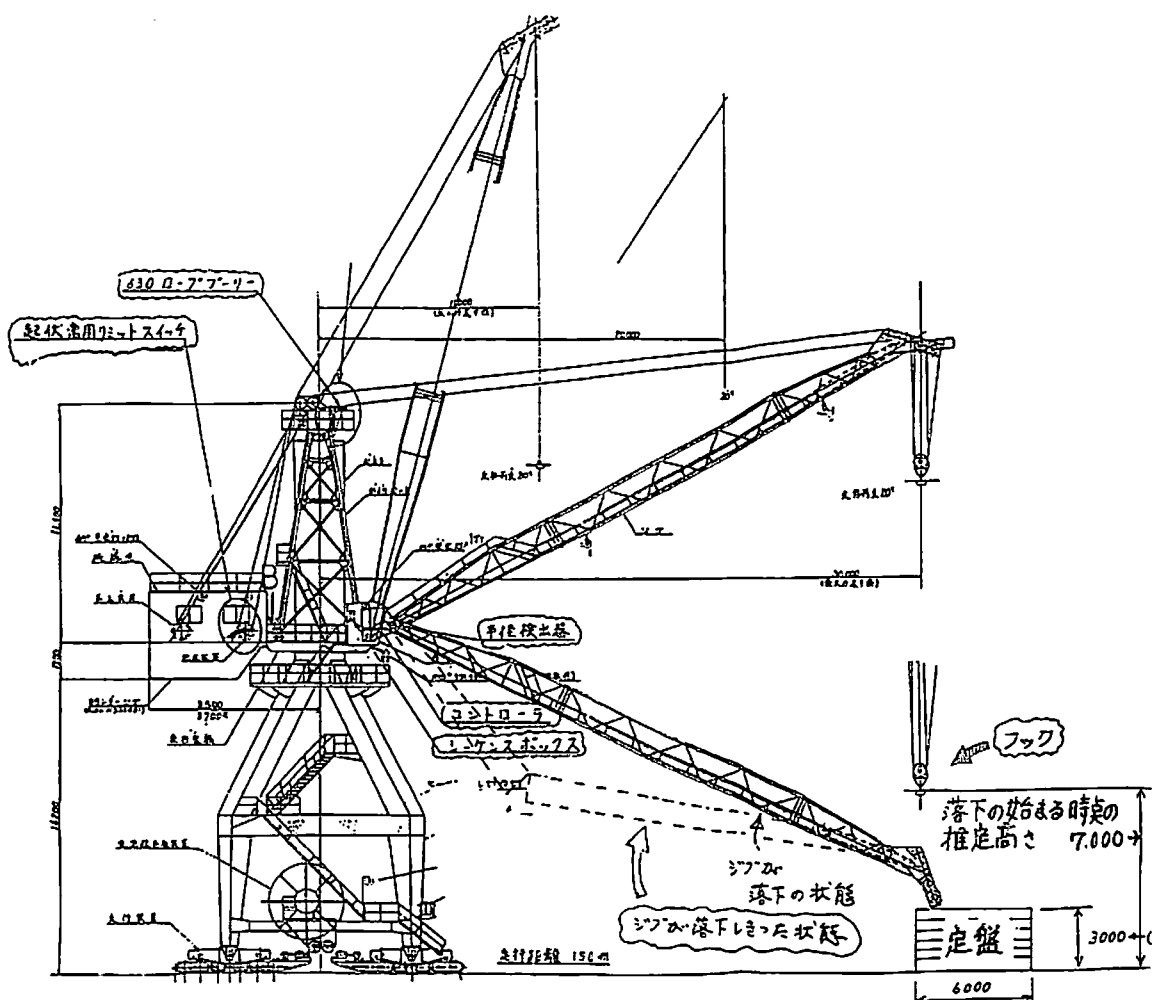
30トンジブクレーンのジブ落下事故

業種 一般機械器具製造業
 種類能力等 ジブクレーン
 最大吊上荷重 30.3トン
 昭和46年製造
 被害 人的災害 なし
 物的災害 ジブ折損等

が終了したので、運転者は所定の位置に格納しようとして走行しながら、俯仰（ジブを下限リミットまで倒す）操作とフックの巻上を同時操作中、ジブが俯仰下限に来たことを知らせるブザーは鳴ったが、ジブを自動停止させるリミットスイッチが作動せず、そのまま下降したため起伏用ワイヤロープがドラムの取付部から抜け、それによりジブが落下しその先端が地上に積上げていた定盤上に落ち、その

★災害発生状況

30トンジブクレーンを使用して荷積み作業



衝撃でジブの継手部が折損等した。

★災害発生原因

事故調査等を実施した結果、下記のことが判明した。

1. ジブ伏せ用電磁接触器は OFF 時の接点解放遅れが確認された。

これは、分解したところ固定・可動鉄心の接着面にネットリした油分を含んだホコリがこびりついており、これが、電磁接触器のコイル電圧遮断による接点出力 OFF の時間的な遅れを引き起させたもので、よって、電磁接触器の内部機構の故障によることが直接要因と思料される。

なお、油分等を除去し再び組立てて作動試験を実施したところ正常に作動した。

2. 起伏用ドラムは、伏せ方向に回り続けたため、起伏用ワイヤロープは捨巻きがなくなった時点でドラムの取付部から抜けて

しまった。

★災害防止対策

1. 管理体制等の徹底

年次をはじめとする定期自主検査については、法定の項目はもとよりそれ以外の安全装置等について責任者を決め、点検表に基づき厳密に行い、それにより異常を発見した際にはその原因を発見時に徹底的に究明するとともに保全体制の確立を図ること。

また、安全上重要な機器関係については、その耐用年数を考慮し事前に交換修理を行うこと。

2. 安全運転の励行

クレーン運転時においては、自動停止等の安全機器を全面的に信用して使用するのではなく、機械の状態について常に安全を確認しつつ運転操作するような標準作業を作成し、それに基づいて運転者の再教育を行うこと。